

五色台聖苑火葬炉設備更新工事
受注候補者選定基準

令和8年4月

五色台広域施設組合

目 次

1	目的	1
2	審査の方法	1
3	審査の手順	1
	(1) 資格審査	1
	(2) 提案審査	1
4	技術提案書の評価項目と項目別の配点	2

1 目的

この基準は、五色台聖苑火葬炉設備更新工事公募型プロポーザル方式審査委員会（以下、「審査委員会」という。）が五色台聖苑火葬炉設備更新工事の受注候補者及び次点受注候補者の選定をするための評価の基準等について示すものである。

2 審査の方法

審査委員会により、提出された技術提案書の審査と参加者へのヒアリングを行う。
審査は、非公開とする。

3 審査の手順

(1) 資格審査

組合は、参加意向申出書、会社概要及び納入実績（資格審査申請書類）を確認する。

(2) 提案審査

① 技術提案書の基礎審査

組合は、技術提案書に記載された内容が、下記の基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

- ・提出を求めている書類が全て揃っていること。また、指定した様式に必要な事項が記載されていること。記載された内容に疑義がある場合は、参加者に対して内容の確認及び追加資料の提出等を求める場合がある。
- ・技術提案書全体について、提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。
- ・見積書に記載された金額が実施要領に記載の範囲内にあること。

② ヒアリング

審査委員会は、提案内容確認のため、基礎審査を通過した参加者全員に対して、ヒアリングを行う。ヒアリングには参加者の特許に関する内容も含まれることが想定されるため、非公開で実施する。

③ 技術提案書の評価

審査委員会は、技術提案書に記載された内容について、受注候補者選定基準に示す評価基準、区分に従って評価する。評価点の合計が技術提案書の配点合計の70%に満たない場合は失格とする。

④ 提案価格の評価

組合は、提案価格について、受注候補者選定基準に従って評価する。

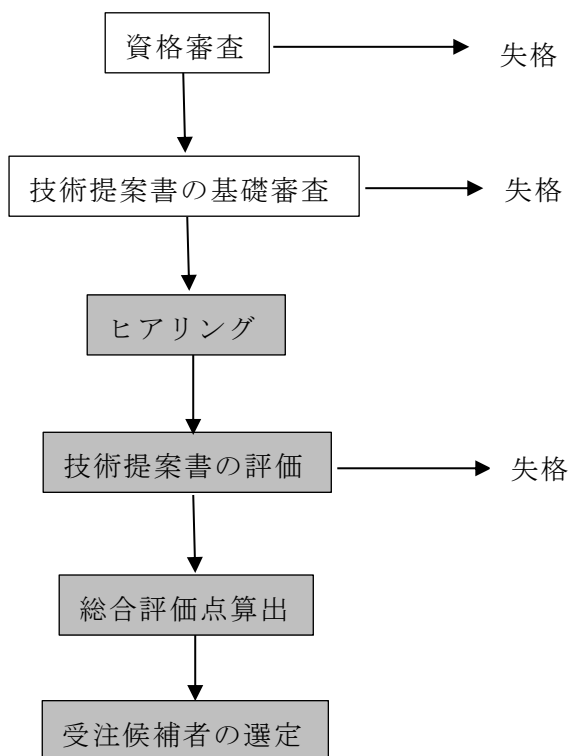
⑤ 総合評価点の算出

審査委員会は、技術提案書、提案価格の評価による得点を合計し、総合評価点を算出する。

⑥ 受注候補者及び次点者の選定

- ・審査により、各審査委員の得点を合計し、最も評価の高い参加者を受注候補者とし、次に高かった参加者を次点者とする。
- ・最も高い総合評価点が2者以上の同点となった場合は、評価項目7維持管理費、8工事費及び9独自提案の合計評価点が最も高い参加者を受注候補者として選定する。
- ・評価項目7維持管理費、8工事費及び9独自提案の合計評価点も同点であった場合は、参加者によるくじ引きにより受注候補者を選定する。
- ・総合評価点が配点合計の70%に満たない場合は、失格とする。
- ・参加者が1者の場合でも審査・選定を行う。

【受注候補者決定までの流れ】



※ は審査委員会が主に行う。

4 技術提案書の評価項目と項目別の配点

技術提案書の提案内容については、審査委員会において、「技術提案書の評価項目」に示す評価項目ごとに審査し得点を算出する。各評価項目は、「会社概要」、「燃烧計算及びシステムの考え方」、「火葬炉設備」、「環境保全対策」、「火葬炉設備更新工程」、「メンテナンス」、「維持管理費」、「工事費」、「独自提案」とした。評価の視点及び配点はその重要度を表したものである。

評価項目		配点	評価の視点
1 会社概要	(1) 経営状況	10 点	火葬設備の信頼性 工事請負の確実性 運用時の緊急体制の確立
	(2) 従業員数		
	(3) 支店等の所在地		
	(4) 実績		
2 燃烧計算及びシステムの考え方		15 点	火葬設備の信頼性
3 火葬炉設備	(1) 主燃烧炉	5 点	炉体構造、使用材料、設備性能、炉内台車、遺体の尊厳及び職員の安全性、炉の温度・空気等の制御、運用面への考慮、枢運搬車、台車運搬車、デザイン
	(2) 再燃烧炉	5 点	
	(3) 燃烧装置(主燃バーナー再燃バーナー)	5 点	
	(4) 排ガス処理設備	5 点	
	(5) 電気・計装設備	5 点	
	(6) 前室、枢運搬車及び台車運搬車	5 点	

4 環境保全対策		20 点	火葬炉設備の環境対策に限定して評価する。
5 火葬炉設備更新工程		20 点	火葬炉設備の配置計画が適正で更新計画も問題ないものを評価する。
6 メンテナンス	(1)保守点検 (2)サービス及び緊急体制 (3)維持管理	20 点	火葬炉設備の保守のしやすさ、トラブル時の対応力について評価する。
7 維持管理費		40 点	
8 工事費		40 点	
9 独自提案	①本業務に対する取組体制	10 点	火葬炉設備更新工事及び設計を含めた工事の体制が適正なものを評価する。
	②火葬炉設備更新工事に関する基本的な考え方	10 点	火葬炉設備更新工事の考え方など、稼働しながら適正に行えるものを評価する。
	③火葬炉設備システム構成及び特徴	10 点	燃焼制御の基本的な考え方がしっかりしており、環境汚染防止対策や特許の所有も含め他社にない優れた特徴があるところを評価する。
	④運営の効率化に対する提案	10 点	火葬業務の円滑かつ効率的な運営を図るための設備提案、運営管理従事者に対する労務負担の削減方法など、運営の効率的が図れる提案を評価する。
	⑤アフターサービスの考え方と体制	10 点	火葬炉設備全体の保守・点検の考え方が適正で、維持管理費の低減を図るための提案、緊急時の円滑な対応が可能なものを評価する。
	⑥環境に関する取り組み方法	10 点	周辺環境への配慮が適正になされているものや、カーボンニュートラルに向けての本事業としての取り組みが効果的であるものを評価する。
	⑦工事中の安全管理及び会葬者への配慮	10 点	仮設計書の考え方が適正で、工事中の会葬者や工事中の会葬者車両に対する安全対策がなされ、会葬者への配慮事項が適正であるものを評価する。
	⑧効率的な施工方法の提案及び品質管理に関する取り組み方法	10 点	効率的な施工方法等の提案、品質管理に関する取り組み方法、コスト削減の取組方法が適正なものを評価する。
	⑨火葬炉設備に関する自由提案	10 点	独自提案の項目にない火葬炉の特徴や運営の提案など、他社にない技術や提案についての優位性があるものを評価する。
合 計		285 点	